転倒ます雨量計
ＭＷ－０１０
取扱説明書

転倒ます雨量計発信器
取扱説明書

Ⅰ　概要

本器は降雨量を電気接点信号に変換して発信する装置で、電接計数器や電磁カウンター等と２芯のコードで接続して使用します。この型のものは、胴体がステンレススチール製、基台・転倒ますその他がポリカーボネイト樹脂製である為、鋼板及びアルミ鋳物製に比べて耐食性（特に耐塩）が非常に良くなっています。

Ⅱ　測定原理

雨を２００φの受水口で受け、貯水タンクにて整流してから下の転倒ますへ落とします。

転倒ますはそれぞれ０．５ｍｍの降雨量に相当する水がたまると､その重さで倒れる２つのバケットと、中心の支持軸で構成され、シーソーの様に交互に転倒しながらその度に電気接点の開閉をします。

Ⅲ　設置

1. どの方向からの風であっても、雨が同じように受水口に入る場所を選んで設置します。
2. コンクリートなどで地面より５ｃｍ高くして、アンカーボルト（Ｍ１０ステンレス製）３本で底面が水平になるように取り付けます。
   円筒下部にある３個のネジを外し、円筒を上に引くと取り出すことができます。
   内部に水準器が付いていますので水平を出します。

Ⅳ　配線及び観測準備

1. 円筒を外して内部の端子に電線を接続します。
2. 転倒ますには運搬の際、動かないようにスポンジがはめ込んでありますので、設置後外して下さい。
3. 受信側と接続して電源を入れ、転倒ますを手で２～３回転倒させ、受信側へ正常に送信されているか見て下さい。
4. 受水口上部は正確な２００φの円形になっており、その先は刃のように鋭くなっているため、保護カバーの付いているものがあります。
   これは、使用の際外して下さい。尚、取扱の際この刃部を傷つけないように注意して下さい。

Ⅴ　保守

1. 受水口にある金網は、木の葉やごみなどか器内に入らないようにするためのものです。時折掃除をして下さい。
   器内に砂や土などがたまりますから時折掃除をして下さい。
   特に転倒ます内はきれいにして下さい。
2. 雨が降り出しても器内の貯水タンクに水が張っていないと、測定開始時間がこの分だけ遅れ、またこの量だけ雨量が少なくなります。
   正確に測定する場合にはこのタンクにいつも水がいっぱいに入っているようにして下さい。
3. ろ水器内に砂や土等がたまりますので、ろ水器取付ネジを外し、ろ水器を取り外して洗って下さい。
4. 転倒ますの軸受けには、特に注油の必要はありません。

Ⅵ　性能

1. 型　　式　　転倒ます型
2. 出　　力　　降雨０．５ｍｍごとに１接点パルス（無電圧）
3. 接点時間　　０．１秒以上
4. 接点容量　　最大使用電流　　１Ａ　ＤＣ
   最大使用電圧　　２５０Ｖ　ＤＣ
   （電流×電圧が１５Ｗ以上にならないこと）
5. 受水口径　　２００φｍｍ

Ⅴ　お問い合わせ先

英弘精機株式会社

本社	〒151-0072	TEL(03)3469-6714
	東京都渋谷区幡ヶ谷 1-21-8	FAX(03)3469-6719
カスタマーサポートセンター		TEL(03)3469-5908
		FAX(03)3469-5897
関西営業所	〒532-0012	TEL(06)6307-3830
	大阪市淀川区木川東 3-1-31　大桜ビル	FAX(06)6307-3860

http://www.eko.co.jp/